

別紙 1

- 「表 2.2-1 全体スケジュール概要」を、下記の記載に変更いたします

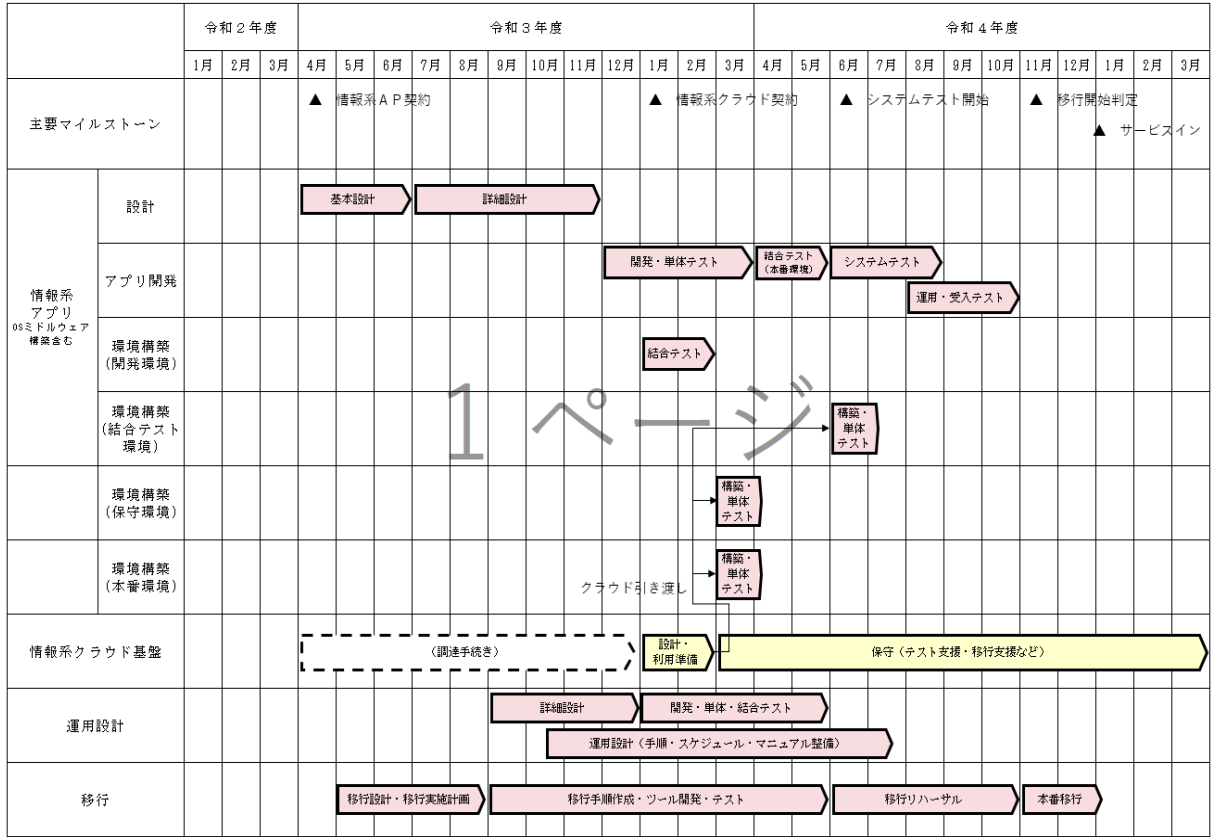


表 2.2-1 全体スケジュール概要

別紙 2

- 「表 5.10-1 情報セキュリティ対策」を、下記の記載に変更いたします。

表 5.10-1 情報セキュリティ対策

項番	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
1	サーバーセキュリティ対策	システムを構成するサーバーに対し、「表 5.10-2 サーバーセキュリティ対策一覧」に挙げるセキュリティ対策を講じること。
2	ネットワークセキュリティ対策	システムを構成するネットワークに対し、「表 5.10-3 ネットワークセキュリティ対策一覧」に挙げるセキュリティ対策を講じること。
3	データセキュリティ対策	データに対するセキュリティ対策は AP 設計開発事業者が実施する。 ストレージやディスクの機能による暗号化については、本受託者が実施すること。
4	協会職員に係るセキュリティ対策	協会職員に対するセキュリティ対策は AP 設計開発事業者が実施する。
5	セキュリティ運用要件	運用要件は「5.16 運用に関する事項」に記載のとおりであるが、セキュリティに係る要件として、「表 5.10-4 セキュリティ運用要件一覧」に挙げるセキュリティ対策も含めて対応を実施すること。
6	ユーザー管理ツール機能要件	協会職員のアカウント情報及び関連する権限等の情報を一元的に管理する仕組みとして、「表 5.10-5 ユーザー管理機能要件一覧」に挙げる機能を実現するユーザー管理の機能との連携を考慮すること。
7	クラウドサービス管理コンソールのセキュリティ対策	クラウドサービスの管理コンソール接続に対し、「表 5.10-6 クラウドサービス管理コンソールのセキュリティ対策一覧」に挙げるセキュリティ対策を講じること。

- 「(7)クラウドサービス管理コンソールのセキュリティ対策」の記載を追記いたします。

(7) クラウドサービス管理コンソールのセキュリティ対策

表 5.10-6 クラウドサービス管理コンソールのセキュリティ対策一覧

項番	対策項目	対策の説明（要件詳細）
1	IP アドレスによるアクセス拠点の制限	管理コンソールの利用は下記拠点のみ可能となるように、IP アドレスによるアクセス制御を行うこと。

項番	対策項目	対策の説明（要件詳細）
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 協会内施設の運用監視センター ・ 運用監視センターの被災を想定した協会が指定する施設 <p>また、管理コンソールを利用する拠点に固定 IP アドレスを設定できるインターネット回線を本受託者が用意すること。ルーター等が必要になる場合は合わせて用意すること。</p>
2	多要素認証	<p>管理コンソールの認証は多要素認証を行うこと。運用監視センターには情報機器の持ち込みが制限されるため、ハードウェアトークンの利用が望ましい。ハードウェアトークンは本受託者が用意すること。</p>

別紙 3

- 「表 5.11.6-1」を、下記の記載に変更いたします。

表 5.11-3 回線速度一覧

項番	環境名	回線速度	備考
1	本番環境	1 Gbps	運用監視センター・東 DC への接続
2	保守環境	100 Mbps	運用監視センター・西 DC への接続
3	結合テスト環境		

別紙 4

- 「表 5.3-1 ストレージ利用サイズ」を、下記の記載に変更いたします。

表 5.3-1 ストレージ利用サイズ

項番	ストレージ種別	環境	データサイズ	備考
1	サーバーストレージ	本番環境	85,550 GB	サーバーのローカルストレージに利用。詳細は「表 5.11-4 インスタンス一覧」を参照。
2		保守環境	21,800 GB	
3		結合テスト環境	4,800 GB	
4	共有ストレージ	本番環境	30 GB	複数サーバーよりマウントし、クラスタ制御用ファイルの保管に利用。
5		保守環境	30 GB	
6		結合テスト環境	30 GB	
7	オブジェクトストレージ	本番環境	400,155 GB	サーバーバックアップ、データバックアップの保管に利用。
8		保守環境	108,075 GB	
9		結合テスト環境	18,012 GB	

- 「5.11.8 インスタンス構成」を、下記の記載に変更いたします。

5.11.8 インスタンス構成

利用するインスタンスは、以下の要件を満たすこと。

- Dedicated Host 上で稼働すること。
- インスタンスは、アベイラビリティゾーンを分散させて配置すること。
 - アベイラビリティゾーン 1 系：「表 5.11-4 インスタンス一覧」に記載の 1 系サーバー
 - アベイラビリティゾーン 2 系：「表 5.11-4 インスタンス一覧」に記載の 2 系サーバー
 - アベイラビリティゾーン 3 系：BI サーバー管理
- ストレージは SSD であること。SSD に複数の種類がある場合、本番環境と保守環境については、より高パフォーマンスかつ高耐久性の SSD を選択すること。かつ性能が安定しないパースタイプは利用しないこと。
- ストレージは暗号化機能を有すること。
- 下記 OS がインスタンスで利用できること。

➤ BI サーバー/DB サーバー/ETL サーバー : Windows Server 2019

➤ 運用監視サーバー : RHEL8.2

- インスタンスが必要とする CPU コア数、メモリサイズ、ストレージ IOPS/サイズ、ネットワーク帯域について「表 5.11-4 インスタンス一覧」に示す要件を満たすこと。

• 表 5.11-4 インスタンス一覧

項番	処理種別	インスタンス役割	CPU コア数	メモリサイズ	ストレージ(システム領域)		ストレージ(データ領域)		ネットワーク帯域		
					IOPS	サイズ	IOPS	サイズ			
本番環境											
1	オンライン	BI サーバー1系	96	768 GB	3,000	2,000 GB	5,000	20,100 GB	25 Gbps		
2		BI サーバー2系	96	768 GB		2,000 GB		20,100 GB			
3		BI サーバー管理	16	128 GB		450 GB		8,200 GB			
4	バッチ	DB サーバー1系	32	256 GB	2,250	750 GB	2,250	5,600 GB	10 Gbps		
5		DB サーバー2系	32	256 GB		750 GB		5,600 GB			
6		ETL サーバー1系	16	128 GB		450 GB		8,650 GB			
7		ETL サーバー2系	16	128 GB		450 GB		8,650 GB			
8		運用監視サーバー1系	16	32 GB	2,250	250 GB	2,250	650 GB	10 Gbps		
9		運用監視サーバー2系	16	32 GB		250 GB		650 GB			
保守環境											
10	オンライン	BI サーバー1系	16	48GB	3,000	450 GB	5,000	10,850 GB	10 Gbps		
11	バッチ	DB サーバー1系	8	32GB						300 GB	3,500 GB
12		ETL サーバー1系	4	32GB						200 GB	5,700 GB
13		運用監視サーバー1系	4	16GB	2,250	250 GB	2,250	550 GB			
結合テスト環境											
14	オンライン	BI サーバー1系	16	16GB	要件なし	300 GB	要件なし	1,050 GB	10 Gbps		
15	バッチ	DB サーバー1系	4	16GB		200 GB		650 GB			
16		ETL サーバー1系	4	16GB		200 GB		1,700 GB			
17		運用監視サーバー1系	4	16GB		200 GB		500 GB			

別紙 5

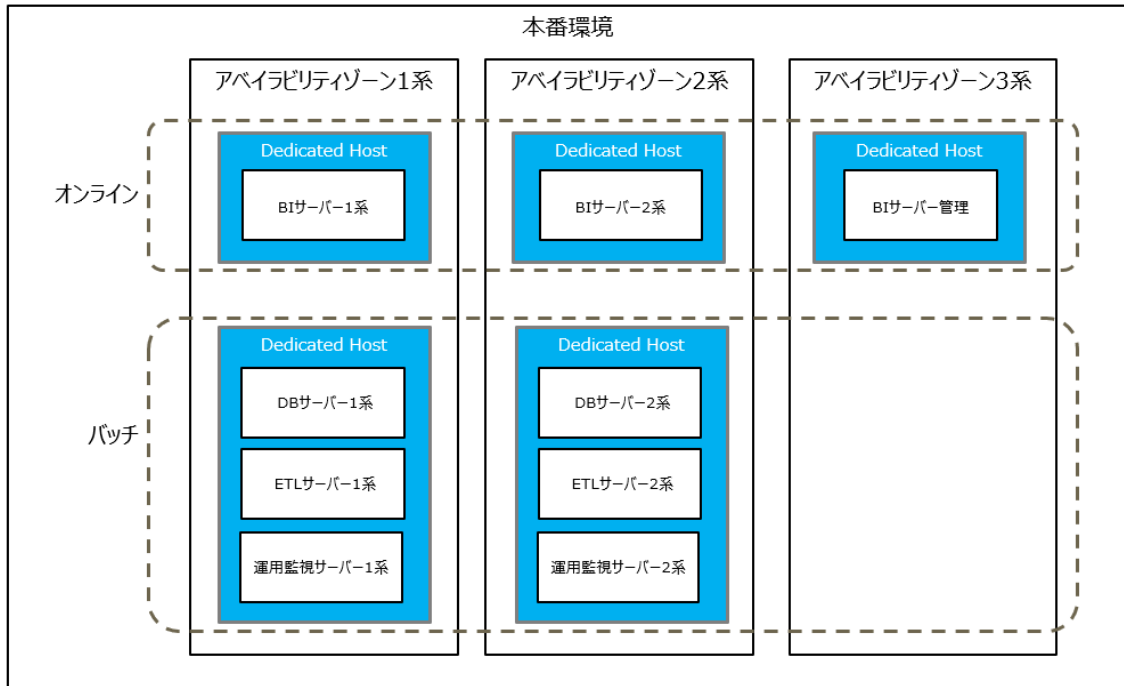
- 「表 5.14-1 引継ぎに関する事項」を、下記の記載に変更いたします。

表 5.14-1 引継ぎに関する事項

項番	引継ぎ発生時	引継ぎ元	引継ぎ先	引継ぎ内容 (例)
1	本システム構築 開始前	AP 設計開発事業 者	情報系クラウド導入事業者	基本設計書一式
2	本システム構築 開始から早期	工程管理等支援 事業者	情報系クラウド導入事業者	統合運用管理ツール要 件定義
3	本システム稼働 前	AP 設計開発事業 者 情報系クラウド 導入事業者	ヘルプデスク事業者 運用事業者 本システムの AP 保守事業者	基本設計書一式 運用設計書一式 各種構成図、設定情報 一覧 操作マニュアル 運用マニュアル 情報セキュリティ対策 事項 リスク一覧、課題一覧 統合運用管理ツールに 係る資料一式

別紙 6

本番環境について、以下図のとおり「オンライン」と「バッチ」にて Dedicated Host を分離すること



別紙 7

- 「表 4-1 納入成果物及び完成時期」を、下記の記載に変更いたします。

表 4-1 納入成果物及び完成時期

No.	作業内容	納入成果物	完成時期
1	実施計画の作成	業務実施計画書	契約後 2 週間以内 (ただし、協会及び関連事業者との調整の結果、改定の必要が発生した場合には、調整終了後適宜改訂版を納入すること)
2	詳細設計	詳細設計書 ● 環境設定書	詳細設計完了後 1 週間以内
3	テスト	● テスト計画書 ● テスト仕様書 ● テスト報告書	別途協会が定める 期日
4	運用・保守設計	保守プロセス設計書	別途協会が定める 期日
5		保守作業ドキュメント ● 保守計画書 ● システム保守基準書 ● システム保守手順書 ● システム障害対策基準書 ● システム障害対策手順書 ● 緊急時対応計画	
6		情報系システム設計開発事業者向けの操作手順書 ● 起動手順、停止手順 等	
7	運用保守	定期保守報告書 ● 作業実施報告 ● 定期保守実施報告 ● 障害対応報告	保守開始以降、毎月
8		その他 ● 議事録 等	随時
9	プロジェクト管理	プロジェクト管理報告書 ● WBS ● 進捗管理 ● 情報セキュリティ管理 ● 成果物管理 ● 文書管理 ● リスク管理 ● 品質管理 ● 要員管理	週次及び随時

No.	作業内容	納入成果物	完成時期
		<ul style="list-style-type: none">● コミュニケーション管理● 課題・問題管理● 変更管理● 議事録	